

## (2)領域

### ①家庭教育

#### ◆現状と課題

家庭教育は、すべての教育の原点であり、人間形成の原点でもあります。そして、家庭は子どもの心の拠りどころであり、学校・地域などすべての活動の礎となるものです。

しかし、近年、核家族化や少子化、家庭や地域社会の人間関係の希薄化、子育てと仕事の両立を考えた雇用環境づくりの問題、さらには親の子育てに対する意識の低下による悲惨な事件の多発等、子どもの健全な成長を妨げる様々な状況がみられます。

子どもは、家庭の中で、子ども同士、あるいは親とのふれあいを通して基本的な生活習慣や人に対する信頼、豊かな情操、思いやりの心、善悪の判断、自立心や自制心等、そして、生きる力を培うとともに、社会のルールを学んでいきます。

こうしたことから、子どもの健全な成長に果たす家庭の役割は極めて大きく、家庭教育支援の充実を図る上で、子育てを社会全体で応援し、支えていくことが求められています。次代を担う子どもたちのために、大人もそれぞれの場で役割を担い、地域社会の力を活かすことが必要です。

親の学び合いの輪・子どもたちの育ち合いの輪を広げるために、子育て支援関係機関、団体と連携した学習機会を拡充し、地域の教育力を高めることが重要です。

重点目標	施策の方向性
1. ライフステージに応じた多様な体験 ・学習活動の機会の拡充を図る。	課題別子育て講座の実施に努める。 男女のパートナーシップの育成に努める。
2. 地域全体で子育てを支える体制の整備を図る。	次世代の親となる若い世代、祖父母等への家庭教育に関する学習の機会の提供に努める。 子ども、親、地域住民が交流する機会の提供に努める。
3. 専門相談員の育成・配置を推進する。	相談機能の充実に努める。
4. 子育て支援関係機関、団体等との連携した学習機会の拡充を図る。	就学時健診、保護者参観日等を利用し出前講座などの実施に努める。
5. 地域ボランティア活動の充実を図る。	地域の人材発掘や能力を活かすボランティア活動の推進に努める。